

Ⅱ 特集(1) 第6回食育活動表彰について

農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、全国各地で食育の推進に取り組む者の功績を称えとともに、その取組の内容を広く周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、2016年以降、毎年農林水産省が表彰しており、その年の食育推進全国大会において、表彰式や事例発表会が行われています。

2022年、第17回食育推進全国大会inあいちの中で行われた第6回表彰では、碧南市の長田勇久氏が農林水産大臣賞を、岡崎市の公益財団法人岡崎市学校給食協会が消費・安全局長賞を受賞されましたので、活動内容についてご紹介します。

食育活動表彰の詳細については、農林水産省のホームページを参考にしてください。

農林水産省HP 食育活動表彰

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/index.html>



ボランティア部門
食育推進ボランティアの部
農林水産大臣賞

長田 勇久氏（碧南市）

地元の食材・食文化を料理人の立場から伝える、オンラインも活用した食育活動

持続可能な食に繋がる地域の食材と発酵文化の魅力、旬の大切さを料理人の立場から多くの人に伝えるため、自ら経営する「日本料理 一灯」を拠点として、大学での公開講座、伝統野菜や醸造文化の研究と発信、小中学校や栄養教諭等への料理講座などの多彩な活動を、生産者や食品事業者と協力し、Webも駆使して展開しています。



店舗では、食材、調理方法、食文化、旬の説明に時間をかけ、会話を通じてお客様の意向把握に努めています。

また、「あいち在来種保存会」や「南三河食文化研究会」など地元の団体に主体的に関わる中で生産者や食品事業者との交流を深め、生産物の知識を深め、づくり手の熱い想いを知るとともに、各種イベントの企画を相談し、立案に役立てています。

オンラインイベントについては、大学教授や他の料理人とオンラインで随時ミーティングを行い、各回の参加者とはチャットを活用して意見交換を行うことにより、分かりやすく楽しい学びとなるよう工夫しています。



公益財団法人 岡崎市学校給食協会（岡崎市）

教育関係者・事業者部門
教育等関係者の部
消費・安全局長賞

飛び出す給食センター調理員
子どもたちとの交流を深めるこころ豊かな食育活動

給食センター内で調理業務を行う調理員たちが本来の業務の枠を飛び出し、自由なアイデアで手作りローカルヒーローや夏休み限定の調理場疑似体験イベントなど、園児・児童・生徒との交流ができる企画を創出、継続展開することで、多くの子どもたちに対して理想的な食生活や食品ロスの啓発を行っています。



独自のローカルヒーロー（給食戦隊ツクルンジャー）による食育ショーではオリジナル台本を作成し、子どもたちが楽しく参加しながら理想的な食生活を学ぶO×クイズや、みんなの力で悪役をやっつける演出を取り入れ、成功体験として印象・記憶に残るように工夫しています。



限定施設見学イベントでは、給食調理の疑似体験を通じて給食調理の大変さを体験してもらうとともに、ガイドを務める調理員の生の言葉で、調理に携わる人たちの想いや給食の食べ残しについて話し、食事に対する意識変化を促せるように心がけています。

表彰の様子

